

2024年9月19日

情報公開文書（オプトアウト文書）

「当院入院患者における対人暴力の動向についての研究」へのご協力をお願い

神奈川県立精神医療センターは地域の拠点病院として中心的役割を果たしており、入院外来含め数多くの患者さまを受け入れております。入院する患者さまの背景は多岐にわたっており、様々なご病気や急性期から慢性期まで幅広く対応しております。入院中は精神状態の不調により様々なことが起こりえますが、その中でも対人暴力は医療スタッフだけでなく患者さまに多大な精神的影響を及ぼします。本研究では、当院における入院患者さまの対人暴力の動向を調査し現状の課題を抽出するとともに、今後の暴力対策と安全管理に活かしたいと考えております。

研究課題名	当院入院患者における対人暴力の動向について
研究の対象	2021年4月1日から2023年3月31日まで当院入院歴のある患者さま全症例を対象とします。
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	患者さまの背景、臨床的特徴、治療内容などの観点から、対人暴力を呈した患者さんの特性や要因を調査し今後の医療の質の向上に役立てたいと考えています。ただし、患者さん個人が特定できないように匿名化して調査するため、個人情報外部に漏れることはありません。プライバシーに十分に配慮いたします。
研究期間	承認日～2024年12月まで
研究に使用する試料・情報の種類	当院医療安全推進部がインシデント管理システムを用い集計した対人暴力の報告を基に、電子カルテの診療録情報（入院回数、年齢、入院の経路・形態、入院前の自傷・他害関連事象、隔離・身体拘束状況、身体合併症、学歴、入院から暴力までの期間、時間帯、食事・睡眠状況など）を調査いたします。
研究実施期間（研究組織）	主研究機関：神奈川県立精神医療センター 研究責任者：医師 小森 宏樹
外部への試料・情報の提供とその方法	外部への試料・情報の提供はいたしません。
情報の管理について責任を有する者・所属	小森 宏樹（神奈川県立精神医療センター）

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月WMAフォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2022年4月1日施行）に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用しますため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

本研究は神奈川県立精神医療センター内で実施しております。研究者は企業等から独立して計画を立

案し実施いたしますので、開示すべき利益相反はありません。本研究の対象となる患者さんでご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。研究データから情報を削除いたします。その場合も診療において不利益を被ることは一切ございません。尚、調査と検討が進み統計的処理が実施、公表された場合には、情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口は神奈川県立精神医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先： 研究責任者 医師 小森 宏樹
研究協力者 医師 森脇 久視
地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel : 045-822-0241